

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【公開番号】特開2010-229144(P2010-229144A)

【公開日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2010-127566(P2010-127566)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/202	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2006.01)
A 6 1 K	36/18	(2006.01)
A 6 1 K	36/23	(2006.01)
A 6 1 K	36/28	(2006.01)
A 6 1 K	36/48	(2006.01)
A 6 1 K	36/899	(2006.01)
A 6 1 K	36/06	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/99	(2006.01)
A 6 1 K	8/97	(2006.01)
A 6 1 K	8/36	(2006.01)
A 6 1 P	3/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 2 3 L	1/30	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/202	
A 6 1 K	9/107	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	47/44	
A 6 1 K	35/78	C
A 6 1 K	35/78	N
A 6 1 K	35/78	T
A 6 1 K	35/78	J
A 6 1 K	35/78	U
A 6 1 K	35/70	
A 6 1 Q	19/00	
A 6 1 K	8/99	
A 6 1 K	8/97	
A 6 1 K	8/36	
A 6 1 P	3/02	
A 6 1 P	29/00	

A 6 1 P	37/06
A 6 1 P	11/00
A 6 1 P	11/06
A 6 1 P	17/02
A 6 1 K	9/06
A 6 1 P	7/00
A 6 1 P	31/04
A 2 3 L	1/30
A 2 3 L	1/30
A 2 3 L	1/30

B
Z
A

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月6日(2011.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

種子または微生物から抽出した、-リノレン酸(GLA)、および/またはステアリドン酸(SDA)に富んだ極性脂質リッチ画分。

【請求項2】

極性脂質リッチ画分が種子から抽出される、請求項1記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項3】

極性脂質リッチ画分が微生物から抽出される、請求項1記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項4】

GLAが、極性脂質リッチ画分に存在する総脂肪酸の少なくとも2重量%を構成する、請求項1～3のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項5】

SDAが、極性脂質リッチ画分に存在する総脂肪酸の少なくとも2重量%を構成する、請求項1～4のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項6】

種子が、ムラサキ科、アカバナ科、ユキノシタ科、ゴマノハグサ科、またはアサ科の植物由来である、請求項1、2、4、および5のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項7】

種子が、ルリジサ、エキウム、マツヨイグサ、またはクロスグリ由来である、請求項1、2、4、および5のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項8】

種子が、キャノーラ、ナタネ、レンシード、アマニ、ヒマワリ、ベニバナ、ダイズ、ピーナッツ、またはトウモロコシ由来である、請求項1、2、4、および5のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項9】

種子が遺伝的に修飾されている、請求項1、2、および4～8のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項10】

種子が、SDAおよびGLAの少なくとも一つの製造を増大するように遺伝的に修飾されている、請求項9記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項11】

微生物が、真菌、微小藻類、または細菌である、請求項1および3～5のいずれか一項

記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項 1 2】

微生物が、モルティエラ属、ケカビ属、プラストクラジエラ属、コウガイケカビ属、コニディオボルス属、ハエカビ属、マキエダカビ属、ヒゲカビ属、クモノスカビ属、ボーベリア属、またはフハイカビ属である、請求項 1、3～5、および 11 のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項 1 3】

極性脂質リッチ画分が、種子および微生物からアルコールを用いて抽出される、請求項 1～12 のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項 1 4】

極性脂質リッチ画分が、種子または微生物からの、ヘキサンおよび他の非極性溶媒を用いる油抽出の副生物として誘導される、請求項 1～12 のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項 1 5】

極性脂質リッチ画分が、重力または遠心抽出技術の使用により種子または微生物から抽出される、請求項 1～12 のいずれか一項記載の極性脂質リッチ画分。

【請求項 1 6】

(a) 種子または微生物から抽出した、GLA、および / または SDA に富んだ極性脂質リッチ画分、ならびに

(b) 別の油

を含む、GLA および SDA の少なくとも一つに富んだ脂肪配合物。

【請求項 1 7】

極性脂質リッチ画分が種子から抽出される、請求項 1 6 記載の脂肪配合物。

【請求項 1 8】

極性脂質リッチ画分が微生物から抽出される、請求項 1 6 記載の脂肪配合物。

【請求項 1 9】

GLA が、極性脂質リッチ画分に存在する総脂肪酸の少なくとも 2 重量 % を構成する、請求項 1 6～1 8 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 2 0】

SDA が、極性脂質リッチ画分に存在する総脂肪酸の少なくとも 2 重量 % を構成する、請求項 1 6～1 9 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 2 1】

種子が、ムラサキ科、アカバナ科、ユキノシタ科、ゴマノハグサ科、またはアサ科の植物由来である、請求項 1 6、1 7、1 9、および 2 0 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 2 2】

種子が、ルリジサ、エキウム、マツヨイグサ、またはクロスグリ由来である、請求項 1 6 1 7、1 9、および 2 0 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 2 3】

種子が、キャノーラ、ナタネ、レンシード、アマニ、ヒマワリ、ベニバナ、ダイズ、ピーナッツ、またはトウモロコシ由来である、請求項 1 6、1 7、1 9、および 2 0 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 2 4】

種子が遺伝的に修飾されている、請求項 1 6、1 7、および 1 9～2 3 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 2 5】

種子が、SDA および GLA の少なくとも一種の製造を増大するように遺伝的に修飾されている、請求項 2 4 記載の脂肪配合物。

【請求項 2 6】

微生物が、真菌、微小藻類、または細菌である、請求項 1 6 および 1 8～2 0 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 27】

微生物が、モルティエラ属、ケカビ属、プラストクラジエラ属、コウガイケカビ属、コニディオボルス属、ハエカビ属、マキエダカビ属、ヒゲカビ属、クモノスカビ属、ボーベリア属、またはフハイカビ属である、請求項 16、18～20、および 26 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 28】

極性脂質リッチ画分が、種子および微生物からアルコールを用いて抽出される、請求項 16～27 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 29】

極性脂質リッチ画分が、種子または微生物からの、ヘキサンおよび他の非極性溶媒を用いる油抽出の副生物として誘導される、請求項 16～27 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 30】

極性脂質リッチ画分が、重力または遠心抽出技術の使用により種子または微生物から抽出される、請求項 16～27 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 31】

別の油が、魚油、微生物油、植物油、GLA含有油、SDA含有油、またはそれらの混合物である、請求項 16～30 のいずれか一項記載の脂肪配合物。

【請求項 32】

別の油が、DHA-、EPA-、GLA-、またはSDA-リッチ油の少なくとも一つである、請求項 16～30 のいずれか一項記載の脂肪配合物。